

患者の皆様へ

2022年6月1日

周産期母性科

現在、周産期母性科では、「分娩時大量出血後に発症した急性 Sheehan 症候群に対する後方視的研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当院に分娩後大量出血にて搬送された患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「分娩時大量出血後に発症した急性 Sheehan 症候群に対する後方視的研究」

2. 研究の意義・目的 「分娩時大量出血の後に発症した Sheehan 症候群の患者様の発症リスク因子を明らかにする」

3. 研究の方法 診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、分娩時出血量、輸血量、手術所見などを参照し、Sheehan 症候群の発症リスク因子を検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名、カルテ番号、生年月日を削除した上で、研究用番号をつけさせていただき、これらの情報と研究用番号の対応表を別に作成し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院生殖医学

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院周産期母性科 医師 石川博士

043（222）7171 内線6394

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。